

南島原市ささえ合い 協議体★通信

#7 #支え合い #協議体
■作成
生活支援コーディネーター
松永裕介

第7号 令和元年12月6日 発行



◆ 認知症高齢者徘徊模擬訓練を開催しました。

令和元年11月9日(土)に口之津町(前方自治会)を対象に、認知症高齢者徘徊模擬訓練を開催致しました。

訓練の開催を決めたのは、自治会からの声からでした。前方自治会は、認知症講話やサポーター養成など積極に取り組まれており、このような学びの中から、「自治会での見守り」について意見があがった。

7月から自治会長、吉田 SC を中心に、徘徊模擬訓練の構成や訓練方法などを話し合った。

当日は、自治会住民の他、近隣自治会や町、口加高校生徒、市外から40名の参加があった。

訓練では、警察署や行政からの市内における、認知症者による事案や捜索願い届の手順など紹介やボランティアグループささえさんの会より、認知症者への声かけについて寸劇を通して紹介があった。



□お問い合わせ 南島原市社会福祉協議会
地域福祉課 ☎0957-65-2888 (松永)

★ 徘徊模擬訓練の様子

徘徊模擬訓練時は、自治会の決められた範囲内に5名の認知症高齢者役が待機しており、グループで徘徊者を探し、「声かけ」や「保護(家族や警察に連絡する真似)」を行った。



病院に行く途中



捜索願いの提出された



デイサービスから



商店を探して



バスに乗って墓参り

警察官も
訓練参加



◆ 徘徊模擬訓練を実施したい地域(自治会)がありましたら、ご連絡お待ちしております。模擬訓練時のビデオ(15分)もあります。お問合せください。

★ その他の取り組み

有家町(新切地区)では、70歳以上の独居・夫婦世帯を中心に、生活支援に関するアンケート調査を実施しています。調査結果から今後は、移動支援サービスの実施を目指して、準備を進める予定です。

R2年1月17日(金)14時~原城オアシスセンターにて、移動支援サービスについての研修会を予定しております。白タクや賃金などの疑問を学びます。講師:全国移動支援サービスネットワーク理事 江口陽介氏